

岩泉町・昭島市連携交流事業報告書

平成27年から3年続けての参加です。この岩泉町との環境連携交流事業は例年7月に実施していますが、今年は台風の影響もあって10月7日から9日にかけて行ってきました。

初秋の岩手県、気温はどうなのだろうと少し心配しながら東北新幹線に乗り込みました。車窓から見える景色は、通過する地域によって天気が良かったり悪かったり、場所によっては雨がかなり強く降っていたりと、早坂高原での植樹が予定通りできるか気にしながら盛岡駅に向かいました。盛岡駅に到着するとあいにく雨が降っていましたが、思ったほど寒くはありませんでした。昼食後、貸し切りバスで早坂高原に向かい、岩泉町の職員方がバスの到着を小雨が降る中待っていてくれました。時間を少し早めに切り上げ、どうにか植樹も無事に終わることができ、岩泉町へと向かいました。岩泉町へは今までも幾度となく訪れ交流を持たせていただけていますが、行く度に雄大な自然の美しさには感動させられてしまいます。

バスガイドさんが今年はマツタケが不作で・・・と話をされてきました。確かに残念なことではありましたが、山の幸、海の幸を贅沢に使った料理ひとつ見ても、岩泉町はマツタケだけではないということを実感しているかのような様子でした。また、ホテルから出される料理一つひとつに、昨年の台風10号の影響で甚大な被害を受けた岩泉町が、復興に向け町全体が一つになって頑張っている姿を重ね見

た方は私だけではないと思います。自分のことのように本当に嬉しかったです。

二日目は龍泉洞まつりに参加しました。

初めての龍泉洞まつり・・・たくさんの出店や大勢の町民の方で非常に賑わっていました。龍泉洞も大変な被害にあったと聞きましたが、日本の三大鍾乳洞の一つであるこの龍泉洞がもとの状態に戻ってくれたことを、すべての町民の方が喜んでいるかのようでした。

また、小本地区や安家地区も見て回りました。だいぶ復興してきた場所もありましたが、所々に見る台風被害の爪痕に、どんな小さなことでもいいから岩泉町の復興のため、自分のできることをまずやろうと思いました。夜、岩泉町職員の方々との交流会がありましたが、飾らなく人懐っこい人柄の方が多く、宴席を盛り上げようと一生懸命に私たちを楽しませてくれた時間というものは、人の優しさに触れたひと時であったと思います。これこそが正に、お・も・て・な・しではないでしょうか。

最後になりますが、岩泉町の皆さんはこれからも更なる町の復興のために力を合わせて頑張っていかれるのだと思います。この環境連携交流事業がこれからも継続していくことで、より深い絆が築けていけると信じていますし、私たちのこの気持ちは必ず岩泉町への復興支援に繋がると思っています。